

大浦光信に思いはせ

あのまち このまち

鱒ヶ沢



古道を散策する参加者(白神自然学校一ツ森校提供)

一ツ森校 白神自然学校 整備の古道を散策

鱒ヶ沢町のNPO白神自然学校一ツ森校(永井雄人代表理事)は20日、中世の武將大浦光信が歩いたとされる、同町の古道を散策する「津軽大浦光信と種里城の歴史街道に触れよう!」と題したトレッキングツアーを行った。

古道は同町の種里城跡から南方約3・6キロ先があり、小森地区から黒森地区にかけての約3キロ。弘前藩主となった津軽氏の祖・光信が、津軽一円に出兵するために通った道と伝えられている。同NPOは5年がかりで古道を調査し、草刈りをして歩けるように整備した。ツアーには、弘前市と青森市から13人が参加した。同町種里の歴史資料

館・光信公の館を見学した後、歩いて現地に



警察犬の臭気訓練。正解のにおいが付いた布が選ばれると、訪れた人たちから拍手が送られた

向かった。古道到着後は、木々や川のせせらぎを楽しみながら、約1時間半かけて散策した。青森市から参加した

古尾聖子さん(73)は「実際に歩くことで、昔、人が歩いたということをよく理解できる感じがした」と話した。

催し、メール

犯罪のないまちに

黒石署と防犯協会 商業施設でフェア

黒石警察署(三上民哉署長)と黒石地区防犯協会(会長・高樋憲心)は20日、黒石市を開いた。会場では白